## 令和4年度入学式&学級V5色

4月8日(金)令和4年度竹富町立船浦中学校第68回入学式が挙行されました。去る3月に上原小学校を卒業したばかりの21名の新入生を迎え、本年度の生徒数は49名となります。 八重山地区では石垣市の大きな3つの中学校に続き、在籍数の多さではナント4番目!!新入生は不安と期待を胸に本校のピカピカの制服に身を包み、フレッシュな風と活気ある雰囲気を醸し出しています。新入生全員による中学校生活へ向けた決意表明・・・各々が考えに考えたコメ

ントを披露しました。素晴らしい!!

## 一人一人の決意表明の様子





さつき先生は国語を担当、石垣第二中学校から 赴任してきました。新一年・新任の先生で船中に あらたな新風を巻き起こして欲しいですね。





発行 宮城裕子 4月 第2号 船浦中学校 85-6554







■ 令和四年度竹富町立船浦中学校入学式 云 舌辛

日増しに温かくなる春の日差しを受け、色とりどりの花々とさわやかなそよ風を全身に感じるよき日に、歴史 ある竹富町立船浦中学校に入学されました六十八期生二十一名のみなさん、ご入学おめでとうございます。本日 の入学式にあたり、多数のご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和四年度船浦中学校入学式を挙 行できますことを、謹んで御礼を申しあげます。

さて、中学生になったみなさんは、今、入学の喜びと、新しく始まる中学校生活への期待で胸がいっぱいでしょうか。それとも、不安のほうが大きいでしょうか。2022年の寅年は「成長」や「始まり」に相応しい年を意味し、様々な新しい芽が成長する、新しい日常が「生まれる」年と言われています。本校の校訓「自主・親愛・努力」を念頭に、何事にも柔軟に、まず同級生の仲間たちとそして2学年、3学年の先輩たちと助け合い・励まし合い、認め合い、協働していろいろなことにチャレンジしてください。本校には、特色ある教育活動として竹富町が推進する海洋教育、並びに西表の大自然と関わりの深い体験的活動を通した学びの「炭焼き体験学習」、3年サイクルの三大行事「てどう山登山」「浦内川筏くだり」「西表横断」など素晴らしい歴史と伝統があります。船浦中学校の生徒としての誇りと自覚を持ち、一日も早く学校生活に慣れ、勉強や文化・スポーツ活動に励み充実した中学校生活を送ってほしいと思います。次に、中学校三年間で皆さんに身につけて欲しい三つのことについてお話しします。それは、本校の学校教育目標でもあります。

一つ目は、自ら学び、考え、実践できる生徒です。自分で考え、主体的に行動できる生徒になってください。

二つ目は、心豊かで自分や他人を大事にできる、思いやりのある生徒です。人をいたわる気持ち、人の痛みがわかる生徒、そして何事においても、感謝の気持ちをもてる生徒になってください。

三つ目は、健康で、根気強く、たくましい生徒です。そしてそのために必要なのが集中力であり、忍耐力です。 それらをしっかり身につけられるよう、地道な努力を積み重ねていって欲しいと思います。保護者のみなさまに おかれましては、本日のお子さまのご入学、誠におめでとうございます。子どもたちが心身の急速な成長を見 せ、自立しようとする中学生時代は、家庭における励ましや心の支えが、欠かすことのできない大切なものとな ります。このように子どもたちの人としての成長は学校教育だけで果たすことはできません。そのために、ご家 庭と学校とが同じ方向を向き、協力して子どもの教育にあたっていくことが重要です。どうぞ本校の教育活動に ご理解いただき、密接な連携のもとにご協力くださいますようお願いいたします。終わりになりましたが、本日 は、竹富町教育委員会より教育長 佐治安弘 様、令和三年度 PTA 会長 池村健二 様、上原地区連合公民館館長 伊藤 裕一 様のご祝辞をはじめ、本校学校行事等や日頃から地域で大変お世話になっております多くのご来賓 のみなさまが、公私ご多用のおりにもかかわらず、入学式にご臨席賜り、誠にありがとういございます。高い所 からではございますが、心より御礼申し上げます。本校は、地域のみなさまに支えていただきながら、「チーム 船中」として、ここまでやってきました。創立六十六年目に入る船浦中学校の校風と伝統を引き継ぎ、原石であ る船浦中の生徒が切磋琢磨しながら自身に磨きをかけ、輝かしい実績を更に発展させていけるよう、また、変化 の激しい時代を生き抜く力を身につけさせるために、十五の春「島立ち」に向け、私たち教職員一同、力をあわ せて教育活動に取り組んでまいります。どうか、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上 げ、式辞といたします。

令和四年四月八日 竹富町立船浦中学校 校長 宮城 裕子